

持続可能な未来をつくり、
しかも今よりずっと幸せに生きられる、
それが「エコビレッジ」。

衣食住、エネルギー、お金、環境、孤独、病気
子育てや老後の不安・・・いまの暮らしにまつわる
問題の解決策のほとんどはエコビレッジにあります。

安全な農作物を自分たちで育て、自然エネルギーを利用した快適な家に住む。自動車はシェアし合い、ごみはリサイクルする。みんなでもとに過ごす共有スペースでは、悩みごとを相談したり、交代で夕食を作って大家族みたいのにぎやかに食事をする。子どもたちはみんなで育て、共働きでも安心して暮らすことができる。一人っ子でもたくさんの兄弟がいるかのように切磋琢磨し合って成長する。お年寄りや若い世代がともに暮らし、文化やアートを大切にします。

エコビレッジは、多様性を大切にし、現代に生きるわたしたちの、とぎれてしまった「ココロとカラダ」「人と人」「人と大地」といったあらゆるつながりを、再び作り上げていくワクワクする試みです。

そこで取り戻される循環型の暮らしは、健康な心身、人や自然とつながって生きることの喜び、持続可能な暮らしのための環境を同時に実現してくれます。



大家族のようにみんなで食事

エコビレッジ・デザイン・エデュケーション (EDE) は、
国連「持続可能な教育のための10年」の重要な位置を占める
国際的な教育カリキュラム。

持続可能なコミュニティや地域づくりを実践する
包括的な学びの場を提供します。

いよいよ第2期EDEがスタートします。

EDEの講座内容は、世界各国で行われているカリキュラムを、日本の社会状況に合わせてアレンジしたユニークなプログラム。コミュニティの再生という時代の課題、対話と合意形成、新しいリーダーシップ、地域の力の回復、伝統の知恵と文化の継承、分かち合い、心の成長、自然との深いつながり、コミュニティと健康、農的暮らし、食やエネルギーの自給、未来をつくる仕事など。先が読めない時代の中で理想を身近なところから実現していくのに必要となる実践的な内容が盛りだくさん。各分野では専門の講師陣を迎え、集中的に効率よく学びや気づきを深めていくことができます。

Q EDEは
いつ、誰が
作ったの？

A 国際NGOグローバルエコビレッジネットワーク (GEN) の教育部門ーガイア・エデュケーションの集団GEESE (持続可能な地球のための国際エコビレッジ教育者) がプログラムのガイドラインづくりを担当。EDEプログラムは、1998年からGEESEのメンバーが集い、2006年から試験的に始められました。

A 2007年以降、世界21カ国/28カ所(オーストラリア、インド、スリランカ、タイ、フィリピン、日本、イスラエル、トルコ、ポルトガル、スペイン、イタリア、ドイツ、スコットランド、デンマーク、フィンランド、ブラジル(5カ所)、メキシコ(3カ所)、ポリビア、アルゼンチン、アメリカ(2カ所)、セネガル)で開催されました。

Q どんな国で
行われたの？

A 持続可能な暮らしに興味のある人、エコビレッジを創りたい人、地域おこしに取り組みたい人、都市農村交流を実践したい人、企業社会を変えたい人、社会起業をしたい人、包括的な学びのプログラムを作りたい人など...自ら学び、学んだことを実践につなげていく意思のある人ならどなたでも参加できます。

Q どんな人を
対象と
しているの？



「全生命の集い」のワーク



わらと土だけでできた、自然に還る家

講師/ファシリテーター (予定)

エコビレッジ概論

古橋 道代
グローバル・エコビレッジ・ネットワーク・オセアニア&アジア・日本大使。木の花ファミリー・メンバー。エコビレッジでの生活を日々実践している。

社会

榎本 英剛
CTI(The Coaches Training Institute) ジャパン創業者/顧問。NPO法人トランジション・ジャパン共同創設者。コーチングとリーダーシップのトレーニングを国際的に展開。

廣水 乃生
コミュニティ・ファシリテーション研究所代表。米国プロセスワーク研究所にて葛藤解決・組織変革ファシリテーションマスターコース修了。

経済

田中 優
未来バンク事業組合理事長、天然住宅共同代表。グローバル経済のカラクリを斬新な視点で読み解き、平和で持続可能な社会づくりを提案・実践。

鎌田 陽司
NPO法人懐かしい未来代表理事。第1期及び第2期EDE運営委員会代表。ネパールでの平和教育、チベット伝統医療復興、日本のローカリゼーションなどを推進。KJ法マスター。

世界観

内山 節
哲学者。NPO法人森づくりフォーラム代表理事。東京と群馬県上野村とを往来しながら、森を歩き、畑を耕し、人と自然の関係を哲学している。

廣水 乃生

食と健康

三谷 五一
頭蓋仙骨調整の施術者。コミュニティ・ヒーリングの技を提供。

風 かおる

有限会社ガイアコミュニティ代表。ホリスティックな食のワークを提供。

環境

糸長 浩司

日本大学生物資源科学部教授。NPO法人パーマカルチャー・センター・ジャパン代表理事。パーマカルチャー、エコビレッジ運動の学術分野における第一人者。

藤村 靖之

非電化工房、発明起業塾主宰。日本を代表する発明家の一人。社会的にいいことと好きなことをつなげるステキなビックリを提案しつづけている。

●この他、アジア学院のユニークなスタッフをはじめ、さまざまな人が智恵を分かち合います。

主な会場：アジア学院

アジア・アフリカ等の草の根の農村指導者を養成する学校&エコビレッジ、1973年設立。さまざまな異なる文化や背景を持つ人々が共同生活を営みながら、有機農業を実践しています。



田植えを終えて (アジア学院)